

ドキドキ IZUCHU図書館

お団子もう食べていいかなあ...

和泉中学校図書館 第72号 2020年9月発行

ファンタジー特集 いよいよ読書の秋、読みごたえのある本と出会おう!

『ハリーポッターと賢者の石』シリーズ第一作目 J.K.ローリング・著

◆本を読まなくても映画をみればわかるよ、は大まちがい! ◆

Harry Potter



自分が魔法使いとは知らず、叔母の家でひどい扱いを受けて育った少年ハリー・ポッター。11歳の誕生日に「ホグワーツ魔法魔術学校」への入学許可証が届く。自分の生い立ち、両親の死の事実を知ったハリーは魔法学校への入学を決意する…物語はそんなふうになる。不思議に満ちたホグワーツでの生活は驚きの連続。そして学園ものとしての面白さも!

映画もちろん面白いけれど、本はとても魅惑的な言葉で魔法世界が描かれているので、イマジネーションがよりいっそうかきたてられる。さらに、映画には出てこない登場人物たちの人間関係や性格、心の動きなどが細かくわかり、本を読めば、よりいっそうハリーたちのことが好きになるよ。世界でもっとも売れた児童書シリーズとしてギネスにも認定されているのだ!

※「アーチーグリーンと魔法図書館の謎」・・・ハリー・ポッターを読みやすくしたような新しいファンタジーシリーズもおすすめです。



『ふしぎ駄菓子屋 銭天堂』1～13 廣嶋玲子・著

◆図書室でとてもよく借りられている人気シリーズ◆

幸運を求める人の前にだけあらわれる銭天堂。一風変わった駄菓子の子の数々に魅了され、早く食べたくてたまらなくなるけど気をつけて。まずは説明書きをよく読むこと。幸運を生かすも殺すも客次第ですであしからず。

また行きたくなくても二度とみつけることはできないのが銭天堂。なぜってお客を選ぶのは店の方なのだから。



『マジックツリーハウス シリーズ』1～47 オズボーン・著

◆面白いだけじゃない。さまざまな時代や国の知識が楽しく身につく◆

森の木の上にある不思議な小屋を発見したジャックとアニーが、この小屋からあらゆる時代にタイムスリップし、スリルたっぷりの体験をするシリーズ。

すべての漢字にふりがながついているのでとても読みやすい。読むのが苦手な人にもおすすめ!



『霧のむこうのふしぎな町』 柏葉幸子・著

◆映画「千と千尋の神隠し」のもとになった作品

初めての一人旅で、リナは不思議な町に迷い込み、その主に冷たい扱いを受けながらも、けなげに頑張って仲間を増やしていく。はじめは引っ込み思案だったリナだが、「働かざる者、食うべからず」という館で、人の役にたつことを覚えていく。いつまでも心に残る作品。



『アラルエン戦記 第1巻 弟子』全14 フラナガン・著

◆世界中で800万部以上の大ベストセラーとなった王道ファンタジーシリーズ◆

海に囲まれた島、アラルエン王国。「ウィル少年には素質があります。わたしは彼を引き受けます。」そう言って15歳の孤児ウィルの前にあらわれたのは、謎に包まれた不気味な男ホルト。ホルトはアラルエン王国を敵から守る諜報部員レンジャーだった。旅立ち、弟子入り、放たれた刺客と15年前の記憶・・・王国の運命をにぎる技の巨匠と少年たちの熱い日々が始まる。



孤独を抱えた少年が師と仲間を支えられて成長する物語。

『これは王国のかぎ』 荻原規子・著

◆15歳の誕生日、アラビアンナイトの世界にまぎれこんだ少女◆

失恋した女子中学生が魔人族(ジン)としてアラビアンナイトの世界に転生し、魔力を発揮しながらさまざまな出会いを重ねていく。生きるか死ぬか、やるかやられるかのハラハラ大冒険ファンタジー。転生ものの基本形。

有名な「アラビアンナイト(千夜一夜物語)」も図書室にあるので、読みたい人は図書室に探しにきてね。



新しく入った本

「一度死んでみた」 澤本嘉光／鹿目けい子・著

◆二日間だけ死んだ状態になる薬を飲んでみたら◆

父親のことが大嫌いな女子大生・七瀬。ある日、父親が急死したとの連絡が。実は父は自分の会社が開発した薬を飲み、二日間だけ仮死状態にあるのだった。だが、社内の裏切り者により、本当に火葬されそうになり…。「まだ、お父さんに伝えたいこと言っていない」。父の秘書と共に、七瀬は父親を生き返らせることができるのか！？



広瀬すず主演で映画化された作品。とても読みやすく、笑えて泣けます。

「開催！世界あたりまえ会議」◆わたしの「ふつう」は誰かの「ありえない」

世界の風習をおもしろく紹介した本。「戦争の代わりに歌合戦で決着をつける国」「住所というものが無い国」など、びっくりしながら世界の広さがわかる。ゆる～い感じのイラストも楽しい。



「はかりきれない世界の単位」◆世界の珍しい単位をあつめた本◆

この本の中に「スポットアーヴストンド」という単位が紹介されています。それは「つばの飛び距離」をあらわす単位。ソーシャルディスタンスの距離を測るのにいいかも～？(´ω`)



「タヌキとキツネ 偉人の名言」

◆仲良しのタヌキとキツネが古今東西の名言を紹介◆

- 和を以って貴しと為す (聖徳太子)
- 偶然は準備のない者を助けない (パスツール)
- 天は人の上に人を造らず。人の下に人を造らず (福沢諭吉)



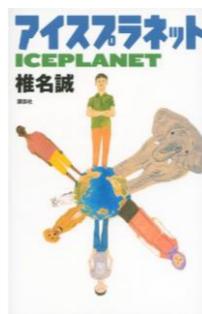
名言って意外と刺さるね！

「アイスプラネット」 椎名 誠・著

◆こんなおじさんの言うことなら素直に聞けるかも◆

ぼくの家で「いそろう」している冒険家のおじさんは、世界中の珍しい話を聞かせてくれる。「ほらばなし」かと思いきや、必ず証拠写真を見せてくれるから、ぼくの好奇心はとまらない。

著者の椎名誠さんの実体験に基づいた物語。おいしそうな食べ物のお話などもたくさん出てくるよ。とても読みやすい！



こんな本も！他にもいろいろ入っているので図書室に来てね！

- ◆「小説 鬼滅の刃」幸せの花／片羽の蝶
アニメで描かれていないエピソード
- ◆「からだのなかのびっくり事典」
人間の体にもこんなに残念があったとは
- ◆「レギュラーになれないきみへ」
ゴールはいまじゃない！
- ◆「ぼくはイエローでホワイトでちょっとブルー」
超話題のノンフィクション大賞受賞本！
- ◆「一度死んだ僕の、車いす世界一周」
270日間、介助者なしの波乱万丈ひとり旅

「えほん遠野物語 まよいが」ほか全8冊 柳田邦夫・原作／京極夏彦・文

◆百年をこえて語りつがれる怪談の原点！美しく悲しい物語◆

山奥でとつぜん立派な屋敷に出くわす。庭には花が咲き乱れ、座敷には宴会の準備が整っているのに屋敷には人っ子一人いない…。「まよいが」は実は「迷い家」と書き、そこに入り込んでしまった者は何かを持ち帰ると幸せになるという言い伝えがあるそうだ。遠野の不思議な世界が味わえる。

このえほんシリーズには「かっぱ」「おしらさま」「ざしきわらし」など不思議な話があります



シリーズ「青春サプリ。」 全5冊

◆いろいろな部活で輝いている人にスポットをあてた短編物語集◆

この本に収録されているストーリーは、すべて実話。彼らが、日々悩み、努力する姿は、まぶしいくらいキラキラと輝いています。前向きな気持ちと勇気がわいてきます。短編で朝読にオススメ！

いつだってそこに仲間がいる／自分がここにいる理由／乗り越えられない試練なんてない
自分を変えてくれる場所／なりたいたい自分になれる というテーマで5冊あります

